

JPNIC通信

インターネットガバナンスをめぐる最近の議論

ドメイン名の管理やインターネットで使われる技術についての管理は現在までIANAによって行われてきました。しかし、ここにきてこの情勢も変わりつつあります。今回は、インターネットガバナンスをめぐる最近の議論について解説します。



▼ インターネットガバナンスの経緯

最近「インターネットガバナンス」、つまりインターネットを管理するための仕組みについての議論が盛んに行われています。具体的にはIANA【①】の再編に関する議論です。

インターネットは米国政府予算による援助もありましたが、現在まで全体を管理する中心的組織が明確に定められないまま、基本的には草の根的な努力によって発展してきました。運営上で必要となる一元的な管理や調整活動は、実質的には南カリフォルニア大学の情報科学研究所（Information Sciences Institute）のジョン・ポステル教授が代表するIANAが中心となって行っていますが、IANAの組織としての位置付けは明確ではなく、これを組織し直して法律的に明確な裏付けを持った団体とすることが議論の中心テーマです。主要なできごとを時間を追って見てみましょう。

1992年 秋：NSF（National Science Foundation：全米科学財団）とNSI（Network Solutions Inc.）との間で、InterNIC業務（.com、.org、.netの登録業務を含む）に関する合意成立（1993年1月発効、1998年9月期限）【②】

1993年4月1日：NSIによるInterNIC業務開始
1995年9月14日：NSIが.com、.org、.netに対する登録料および保守料の徴収開始【③】

1996年10月22日：ISOC（Internet Society）がトップレベルドメイン名の追加や商標権との関連の問題を審議するためのIAHC（International Ad Hoc Committee）の設置を発表【④】

1997年2月4日：IAHC最終報告書発表【⑤】

1997年2月28日：IAHC覚書発表【⑥】

1997年7月1日：クリントン政権が文書“The Framework For Global Electronic Commerce”を発表【⑦】

1998年1月30日：“グリーンペーパー”発表【⑧】

1998年6月5日：“ホワイトペーパー”発表【⑨】

1998年6月19日：IFWP報道発表【⑩】

1998年7月1、2日：IFWP-America（Reston, Virginia, USA）

1998年7月24、25日：IFWP-Europe（Geneva, Switzerland）

1998年 8月 11-13日：IFWP-Asia & Pacific（Singapore）

1998年8月20、21日：IFWP-LA&C（Buenos Aires, Argentina）

▼ 各経緯の解説

合意文書にはIANAも賛同していたようですが、契約はインターネットに研究資金を提供していたNSFの名前でなされました。

.comドメインの登録数はどんどん増え、当初のNSFとの合意で定められた予算では必要経費を賄い切れなくなりました。

経費の問題は解決しましたが、今度はNSIが莫大な利益を得るようになり、ドメイン登録事業への参入希望者がたくさん出てきました。また、.comドメインの登録に対して商標権の立場から異議を唱える意見も出てきて、訴訟も発生するようになりました。

ISOCはこれまでIANAの法律的な面での保護者の立場を演じており、NSFはこのIAHCの件も含めて、IANAやISOCなどのインターネット関係者の自主的な活動を尊重してきました。

7つの一般トップレベルドメイン（gTLD）を追加する提案と商標権についてのWIPO（World Intellectual Property Organization）への期待が趣旨の報告書です。

最終報告書の考えを実現するための具体的なプランを含む文書で、当時はこれに従って事態が進展

していかに見えたのですが、クリントン政権がこの問題に関心をもち始めて、事態は変化していきました。

一連の動きでgTLD追加の話は後回しにされ、国際的管理機構のほうに先に論じられています。そして“ホワイトペーパー”でも尊重された民間主導的、草の根的な精神（Private and Bottom-up coordination）に基づきIFWP（The International Forum on the White Paper）が組織されました。

新IANAの設立について“ホワイトペーパー”が設定した期限は9月30日です。このわずかの期間内で大統領上級顧問のアイラ・マガジナが求める「インターネットの関係者の統一した合意」【⑪】を作れるかどうか興味深い問題です。

参考資料

- 【①】 Internet Assigned Numbers Authority
<http://www.iana.org/>
- 【②】 <http://is.internic.net/nsf/agreement/agreement.html>
- 【③】 <http://is.internic.net/nsf/agreement/amendment4.html>
- 【④】 <http://www.iahc.org/press/press1.html>
- 【⑤】 <http://www.iahc.org/draft-iahc-recommend-00.html>
- 【日本語訳】 <http://www.nic.ad.jp/jpnict/domain/iahc-final-report.html>
- 【⑥】 <http://www.iahc.org/gTLD-MoU.html>
- 【日本語訳】 <http://www.nic.ad.jp/jpnict/domain/iahc-gTLD-MoU.html>
- 【⑦】 <http://www.whitehouse.gov/WH/New/Commerce/read.html>
- 【⑧】 <http://www.ntia.doc.gov/ntiahome/domainname/dnsdrft.htm>
- 【日本語訳】 <http://www.nic.ad.jp/jpnict/domain/green-paper.html>
- 【⑨】 http://www.ntia.doc.gov/ntiahome/domainname/6_5_98dns.htm
- 【日本語訳】 <http://www.nic.ad.jp/jpnict/domain/white-paper.html>
- 【⑩】 <http://www.ifwp.org/press.html>
- 【⑪】 INTERNATIONAL FORUM ON THE WHITE PAPER
<http://www.geneva.ifwp.org/rtpopeningplenary.html>